

2025年3月1日

アーカス湘南ロータリークラブ様

第2780地区

第3グループガバナー補佐 新井智代

10周年をお祝いして

アーカス湘南ロータリークラブ様が本年3月1日をもって10周年をお迎えになられましたこと、誠におめでとうございます。この節目の年に、クラブの皆様がこれまで積み重ねてこられた奉仕と情熱に、心から敬意を表します。特に、国際ロータリー2780地区初のE-Clubとして、革新的な取り組みを続けてこられたことは、他のクラブにとっても今も大きなインスピレーションとなっています。

「アーカス」とはラテン語で「門」や「アーチ」を意味すると伺いました。まだロータリーという「門」を潜っていない方への第一歩を踏み出す入り口「門」であるように、そして人と人を結ぶ懸け橋「アーチ」であるようにとの願いからそう名付けられたとのお話をでした。

今年度、私は第3グループのガバナー補佐を拝命し今までになく原いづみ会長と大塚和光幹事とお話させていただく機会が増えました。お二人がそれぞれのお立場でロータリーに深く想いを寄せられていることを知るにつれ、1ロータリアンとして例会にメイク参加させていただきましたが楽しみになりました。

原会長は10クラブ合同事業「子供食堂とつながるプロジェクト～おいも de サンタ」を実施することが決まったおりも、体調がすぐれない中 215キロものお米をご自身で運んでご寄付くださいり、また湯河原の畑で行ったお芋堀にまで参加してくださいました。「グループ内で合同事業は必要か？」そんな率直な疑問をストレートに発言されながらも、やれることは手伝います、という潔さに感動致しました。まさにロータリアンの気概を見せていただきました。ありがとうございました。

アーカス湘南ロータリークラブ様は10年間 世界のどこからでも何時でも参加できるWEB上の例会を通して、いつも静かにロータリアンはどうあるべきか、問い合わせていらしたのかも知れません。

そのご努力に敬服しつつ、これからも地域社会や国際社会への貢献をさらに深めてご活躍されますことをお祈り申し上げます。